

—— 実 習 心 得 ——

1. 机上で学んだ事を実習において実践し、経験を通して原理を応用し、理論と実際が常に伴った看護が行なえるようにする。
2. 看護処置を行なう場合、何故行なうのか理由を考え、科学的な根拠に基づいて実施する。
3. 自分の行なった看護について反省・評価し、指導者の助言を受け、各患者に適したよりよい看護を行なうため、工夫・配慮を絶えず行なうようにする。
4. 看護技術はなるべく同一項目であっても機会があれば何回でも繰り返し行なうよう心がける。
5. 直接、人間の生命にかかわるため、真剣な態度で臨む。
6. 実習することに対して責任を持ち、時間を考慮して、最後までできない時は、その旨を指導者に報告する。
7. 実習にあたっては積極的に学び、わからない事、不審な点は必ず指導者に質問し、自分勝手な判断で行なわない。
8. 予習・復習をし、それらの学習を援助に生かした実習ができるよう心がける。
9. 電話の応対はメモを用意し、相手へ学生であることを明確にして受ける。その後その内容を指導者へ報告する。

〈 態 度 〉

1. 指導者及び他職員など、すべての人々に常に敬意をもって接し、指導を受けた時には、自己の向上のために感謝をもって聞く。
2. 廊下等で人に出会うときは、軽く会釈をする。
3. 意見を求める場合や問われた時は、立って返答する。
4. 患者には誠実な態度で接し、患者に関する秘密は口外しない。
5. 患者と私的な貸し借りはしない。
6. 患者からの贈り物は原則として受け取らない。
7. 実習開始・終了を明確にし、必ず挨拶をする。
8. 実習時間に私用で実習場所を離れる時、また実習時間以外に病棟へ出入をする場合は、指導者の許可を得る。
9. 物品の破損、又は紛失した場合は、直ちに指導者に報告する。さらに教員にも報告する。
10. 実習終了後、病棟を出るときは手洗いをし、ポケットを点検して病棟の物を持ち出さない。
11. 言葉は丁寧に優しく、静かに話し、声の調子に注意する。
12. わかりやすい言葉で、敬語を使うよう心がける。

13. 学生間での私的な話題は避けること。またお互いを愛称では呼ばないこと。
14. 動作は静かに、機敏に行動すること。
15. 学生は原則としてエレベーターは使用しない。

〈身だしなみ〉

1. ユニフォーム・靴下・靴は常に清潔であること。
2. 名札は必ず付けて、身分をはっきりする。名札を忘れた場合は、朝のうちに教務に申し出、借用する。
3. 頭髪は襟や眉にかからないようにし、ロングヘアは束ねる。
4. 原則として私服のまま実習場所への出入りはしない。
5. 爪は短く切り、清潔にして、指輪、マニキュア、ピアス、ネックレス等はしない。
6. 化粧は薄化粧とする。

〈その他〉

1. 学生は疾病その他の理由により、実習を欠席する場合は、8:10までに教務に連絡する。
2. 実習の欠席が多く、規定時間を満たない場合は、やむを得ない理由に限り補習実習を受けることもできる。
3. レポートその他の提出物は期限を守る。
4. 情報収集は原則として、実習場の支障のない時間に実施すること。但し、17:45までとする。
5. 実習中は筆記用具・メモ用紙を持参する。
6. 筆記用具・時計等実習場所へ持参するものは、シンプルで実習に支障のないものとする。
7. 教科書、その他の参考書などは病室に持参しない。
8. 学内にユニフォームでいる場合は、エプロンをはかずこと。